



日本通運四国 3年ぶり10回目優勝！

決勝戦は、67回大会(昨年度)と同じ対戦となり「日本通運四国」が雪辱を果たした。

「日本通運四国」は0対0で迎えた4回、5番大山の四球を足場に7番八木のセンターオーバーの3塁打により先制点を挙げ、続いて四球を挟み9番宮脇のレフト左への2塁打で、この回合計3点を取り、そのまま逃げ切った。

一方、宮脇投手は、1安打を浴びたものの(牽制でアウト)打者27人に対し9三振、を記録し完封した。